

平成24年度予算

総 額 725億3,298万円
一般会計 370億3,543万円

「新しい、元気のあるはびきの」づくりに向けて

平成24年度の当初予算は、第1回定例市議会で可決承認いただきました。一般会計と国民健康保険特別会計など8つの特別会計、それに水道事業会計を合わせた市全体の予算総額は725億3,298万円です。

本市では、依然として厳しい財政状況の中で、多様化する市民ニーズに応えながら夢と魅力にあふれる「新しい、元気のあるはびきの」づくりの実現にむけた当初予算の編成を行いました。



会計別予算額

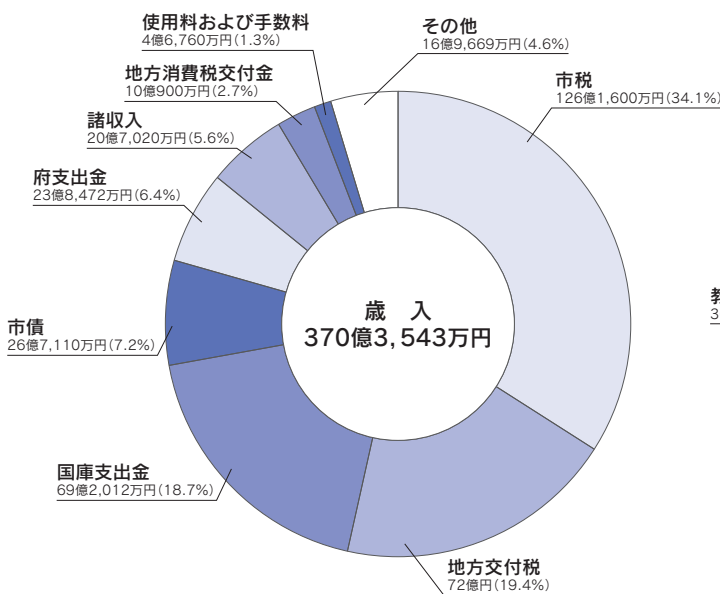
会 計 名	24年度	23年度	伸び率(%)	
一 般 会 計	370億3,543万円	375億4,107万円	-1.3	
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	147億3,427万円	151億2,926万円	-2.6
	と畜場特別会計	2億4,502万円	2億3,951万円	2.3
	財産区特別会計	18億 77万円	19億3,362万円	-6.9
	公共下水道特別会計	47億4,620万円	47億7,986万円	-0.7
	介護保険特別会計	81億5,131万円	80億 372万円	1.8
	健康ふれあいの郷事業特別会計	8,555万円	8,635万円	-0.9
	土地取得特別会計	1億6,570万円	1億1,519万円	43.8
	後期高齢者医療特別会計	13億7,381万円	12億6,700万円	8.4
水 道 事 業 会 計	41億9,491万円	36億3,783万円	15.3	
総 額	725億3,298万円	727億3,338万円	-0.3	

※端数調整のため、各会計の合計値と総額の値は一致しません。

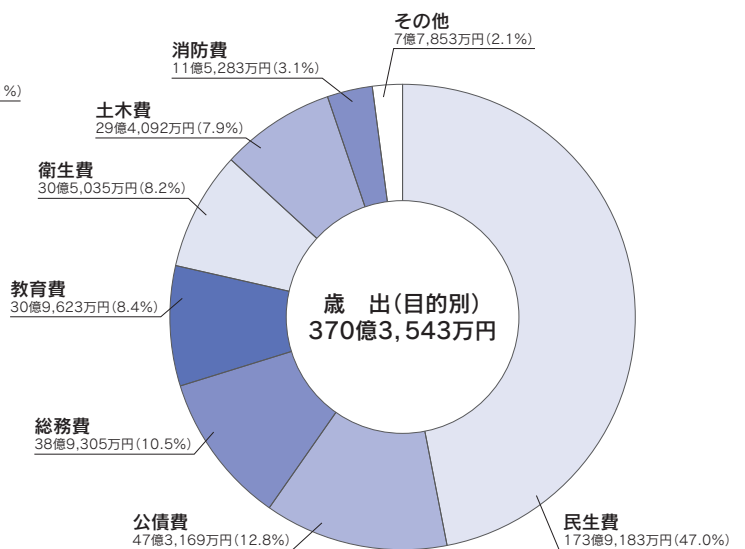
歳出においては、市民の安全安心を守るための「防災」施策を進めるとともに、教育環境の整備・充実など、次代を担う子どもたちのための「教育」施策や、道の駅しらとりの郷・羽曳野を中心とした「観光」施策の分野に力を注いでいます。同時に、全体としては時代に即した行政サービスを提供していくために、事業の選択と集中を図り、より効果的・効率的な行財政運営に取り組むことができるよう配慮をしています。

歳入では、長引く景気低迷の影響で、市税などの大きな伸びは見込めず、引き続き財政健全化に向けた行財政改革を推進し、スリムで質の高い行財政運営を目指します。

【歳入】一般会計の内訳



【歳出】一般会計の内訳(目的別)



平成24年度予算書は、市ウェブサイトまたは市役所本庁1階の情報公開コーナーにてご覧いただけます。

主な事業の概要

平成24年度の主だった事業とその予算額を掲載しています。

【主なソフト事業】

- 防災関連事業** 816万円
平成19年度に作成した洪水・土砂災害ハザードマップを見直し、新たに作成します。
また、災害時の備えとして、備蓄食料を計画的に購入し、その充実を図ります。
- 証明書などコンビニ交付事業** 3,223万円
全国のコンビニエンスストア（現在はセブンイレブンのみ）で、市役所の閉庁時間や休日においても各種証明書類の交付を受けられるようにし、市民の利便性の向上を図ります。
- 健康づくり事業の推進** 2,125万円
国保一般健診の健診項目を追加するとともに、その受診対象を拡大し、新たに「羽曳野市民健診」として市民の健康づくりを支援します。また、がんの早期発見や、健康意識の向上を図るため、前立腺がんについての無料検診を実施します。
- 出産・子育て関連事業の充実** 2億1,756万円
安心して出産・育児ができるよう、妊婦健康診査の公費助成を増額します。また、乳幼児医療においては、入院時の医療費などの助成対象を小学校6年生まで拡大します。
- 観光産業振興計画策定事業** 200万円
「羽曳野市観光産業振興計画」を策定し、史跡や文化財、豊かな自然などの観光資源と産業とを有機的に連携・協調させ、多くの方々に来訪していただける新たな魅力を創出します。
- 中学校給食事業** 7,611万円
成長期にある中学生の健全な育成と保護者への子育て支援の充実を図るため、民間調理場を活用した選択制の中学校給食事業を実施します。

【主なハード事業】

- 各種施設の供用開始** 1,611万円
平成23年度に整備しました以下の施設を4月より順次供用開始します。（数字は管理費）
 - ・古市複合館（408万円）
 - ・古市駅前広場（121万円）
 - ・緑と市民の協働ふれあいプラザ（988万円）
 - ・駒ヶ谷駅西側公園（94万円）
- 学校施設の耐震補強など改修事業**（平成23年度からの繰越事業を含む） 12億6,842万円
峰塚中学校・羽曳が丘小学校において耐震補強・改修工事を実施するとともに、羽曳が丘幼稚園の小学校敷地内への移転改築工事を進めます。また、埴生南・丹比小学校においては耐震改修に向けた実施設計を、誉田中学校では耐震化も含めた新築建替えに向けた実施設計および文化財発掘調査をそれぞれ実施します。
- 埴生小学校整備事業** 2億5,864万円
現状の埴生小学校校舎は耐震性能に問題があるため、耐震化工事の終了した羽曳野中学校の空き教室などを有効に活用し、移転に向けた改修整備を行うことにより、児童の安全性を確保します。
- 茶山グラウンド整備事業** 6,893万円
茶山グラウンド敷地の一部を活用し、世界文化遺産登録を目指す古市古墳群のガイダンス機能を備えた施設などを整備することにより、情報発信と地域の歴史文化遺産にふれあえる場の提供を行います。
- 恵我ノ荘駅など周辺整備事業** 252万円
近鉄恵我ノ荘駅周辺においては、駅舎のスロープ改修をはじめとしたバリアフリー化や駅前歩行空間の確保など一体的な環境整備事業を計画しており、平成24年度においては、これら駅周辺の環境整備事業に係る実施設計業務を行います。

■問合せ 財政課 ☎958-1111（内線3563）

「羽曳野市財政健全化計画取組項目実施工程表（平成23年度改訂版）」を策定しました。

市では、健全財政のもとで、質の高い市民サービスを効率的、安定的に提供するため、「羽曳野市財政健全化計画」（平成22年3月策定）に基づき、行財政改革を推進しています。

市の財政は、黒字を維持していますが、景気の先行きが不透明な中、市税収入の減少や扶助費の増加などにより、今後、財政健全化に取り組みなければ、再び赤字財政に陥る厳しい状況にあります。

そのため、財政収支の均衡に向けて、改めて達成すべき財政健全化の目標を示した「羽曳野市財政健全化計画取組項目実施工程表（平成23年度改訂版）」を平成24年3月に策定しました。

この実施工程表は、収入の確保や事務事業の効率化、適正化による取組項目の追加・見直しを行い、毎年、改訂版を策定しています。そして、改訂版を案の段階から市民の皆様公表するなど徹底した情報公開を行い、市民との協働による財政健全化に取り組むこととしています。

なお、改訂版の案に対する意見募集にあたり、お寄せいただいたご意見につきましては、市の考え方を添えて、改訂版とともに下記の施設でご覧いただけるほか、市のウェブサイトにも掲載しています。

●財政健全化計画取組項目実施工程表（平成23年度改訂版）の閲覧場所
市役所1階情報公開コーナー、支所、各図書館（中央、陵南の森、羽曳が丘、丹比、東部、古市） ※市ウェブサイトでも閲覧、ダウンロードできます。

■問合せ 総務部行財政改革推進室 ☎958-1111（内線3580）